



## ARCHITECTURE REVIEW



### 建築見て歩記 その104

神奈川工科大学にある「カイト工房」です。2008年に石上純也の設計で完成しました。外周面は全てガラスで、内部に林立する様々なサイズの平鉄板の「柱」で全ての構造を担っています。一見無作為に立っているようですが、幅・厚さ・数・向きを細かく調整する事で構造を成立させその粗密が、緩やかな「仕切り」となり必要な機能を満たしています。

## CURRENTLY WORKS



### 医療施設用リーフレット … 「インパクト」と「遊び心」

ドクター向けに、お手伝いできることをお伝えするための小さなリーフレットを作成しました。本来はお伝えしたい事がたくさん有り、あれもこれも…と欲求不満で思ってしまうのですが先ずは小さな驚きを…さらにはセンスと、遊び心を感じて頂き、私たちのテイストを事前にわかって頂く仕掛けです。

## PRIVATE TOPICS



### 太田のアート探訪記 その24

札幌にある「モエレ沼公園」です。彫刻家イサム・ノグチの基本設計で2005年にオープンしました。しかし、ノグチは1988年に逝去しており残された模型をもとに、イサム・ノグチ財団とアーキテクトファイブの努力を経て実現しました。「公園全体をひとつの彫刻作品とする」というノグチの壮大な目論見は、没後17年の時を経て現実のものとなりました。

## EDITIONAL NOTE

3月8日は「ミモザの日」です。同日は「国際女性デー」でもあり、ミモザがシンボルとなっています。本来、ミモザはオジギソウの別名でしたが、イギリスでフランスから輸入された「フサアカシア」を「ミモザ」と読んだ事から、黄色い房状の花を咲かせるマメ科アカシア属の俗称として定着しました。

編集担当：太田・藤原、監修：岡島